

八正道

天命に生きるとは・・・中村 天風

- * 地上に生まれてきた目的・使命が分かり、それに向かっていき続けること
- * 祈りをこのレベルにまで高めること

祈りの本質

10%の意識で生活する地上の人間にとっての祈りとは守護・指導霊の住む己の90%の潜在意識に投げかける光の架橋
但しその祈りは八正道を基としていること

1. 正見（正しく見る）
自己の立場を捨て第三者の立場でモノを眺める、自己保存・我欲は盲目だ
2. 正思（正しく思う）
人を呪わず、悪い思いも実現するので第三者の立場で思うこと、広いところで相手を包む、我慢は捨てる（病気をつくる）忍辱を学び・相手のこちらの安らぎを祈る高いところ
3. 正業（正しく仕事する）
魂を磨くこと！感謝と奉仕～職業を通じて人々との調和を図る
4. 正命（正しく生活）
カルマの修正と短所を改善、長所を伸ばし短所を修正
第三者の立場から自分のところを思う・反省する
5. 正語（正しく語る）
いわれなき言葉には哀れな人だと思いやる
神よ！あの人のところに安らぎをお与えください！と祈る
6. 正進（正しい道に精進）
対人関係と地上の環境を整備・調和させる～こちらの練磨と尊重し合う
資源を大切にす、動物・生き物を無駄に殺傷しない
7. 正念（正しく念ずる）
念とは思い願うエネルギー
諸事全般に神のころである調和・愛の行為に適うか
8. 正定（正しく定に入る）
見、思、語、業、命、進、念、についての反省・検討・侘び・努力
守護・指導霊との対話、愛と慈悲の行為へ
～如心のレベル＝己の心を理解し相手の心も見通せる能力を備えた状態～

{ 八正道 }

現存する最古の事業成功プラン（お釈迦様の指針）

1. 正しい見方（正見～しょうけん）
物事を曇りのない目でありのまま見る。
2. 正しい思い（正思惟～しょうしゆい）
因果関係・原因と結果及び互いが結びついていること、無常・主観性・無私の心を理解する。
3. 正しい言葉（正語～しょうご）
真実で状況に即した言葉、丁寧で役に立ち、かつ人を傷つけず、善につながる言葉使い。
4. 正しい行い（正業～しょうごう）
命を慈しみ戒律に従い、嘘・窃盗・姦通・酒と言った虚を欠く行いを誘うものを慎む。
5. 正しい暮らし（正命～しょうみょう）
誰にも害を及ぼさず、自他ともに利益をもたらす、正直で実りある仕事に従事する、ただ生きるだけでなく有意義な人生を送り天職を見つける。
6. 正しい努力（正精進～しょうしょうじん）
偏りのない努力・勤勉・エネルギー・忍耐力・喜びにあふれた熱意。
7. 正しい気配（正念～しょうねん）
いつも心に気を配り、心の内外にかかわりなく判断や小細工をせず、今という瞬間に経験することに注意を向ける。
8. 正しい集中力（正定～しょうじょう）
目の前にある仕事に集中しながらも最終的には完璧なる悟り、自由なる心、内なる平安、死が存在しない至福に至る道にしっかりと目を向ける。

～ゆっくり急ぐ～